

## 『ゆっくり・ゆったり・森林浴』

12月7日(日)、『第3回くにの松原ウォーキング』が、くにの松原芝生広場周辺の4コースで開催され、朝の厳しい冷え込みのなか、町内外から391人が参加されました。

今年は、大崎土木会（代表：古屋敷正巳）の方々のボランティアの協力により、海岸とコースの整備・清掃を行いました。ウォーキングが始まるころには澄み切った青空になり、絶好のウォーキング日和でした。まず、一番長い7kmコースがスタートし、それぞれのコースで松風の音や潮風の香りを味わいながら、ゆっくりゆったり森林浴を楽しみました。寒い中での開催でしたが「青い海を見ながら、歩いて気持ち良かった」「来年もぜひ参加したい」という声も聞かれました。主催者の大崎町健康運動普及推進員の皆さんは、今後このコースを整備し、定期的な歩こう会を開催したいと意気込んでいました。



## 『全員で頑張った！音楽発表会！』

11月20日(木)、中央公民館において『第44回大崎町小・中学校音楽発表会』が開催され、町内の小中学校に通う児童・生徒が様々な楽器を使いながらリズムに乗せて、日ごろの練習の成果を発表しました。

会場には、演奏を楽しみにしていた地域住民や保護者など、立ち見が出るほどの観客が詰め掛け、和太鼓・木琴・リコーダー・ハーモニカなど様々な楽器を使った演奏や中学生による合唱に、惜しみない拍手がいつまでも響いていました。

## 『雨の中のボランティア！』

11月27日(木)、南九州ロータリークラブ（会長：白山正浩さん）の会員15人が、持留川せせらぎ公園周辺の清掃ボランティアを今年も行いました。

この活動は、同ロータリークラブが取り組んでいる水対策事業の一環で行われているもので、小雨の降るなか傘を片手に、生い茂る草の中からゴミを見つけ出しては拾い集めていました。

会長の白山さんは「これからも、地域に密着した活動を展開していきたいです。」と語られていました。

